



授業改善のための ヒント(1)

鹿児島大学 FD 委員会広報 WG

【発行/2012年3月】

鹿児島大学には、成績が優秀で能動的な学習・生活習慣を身に付けていると思われる学生から、中には何らかの要因で勉学意欲が低下したり、特別な学習支援が必要と思われる学生など多様な学生が在学しています。本FDガイド3号では、資質および勉学意欲の多様な学生を対象に、各教員が効果的な講義そして履修指導を行う場合に役立つヒントを作成することにし、専門教育・共通教育のFD活動から参考となる平成23年度前期の事例を集めました。また、授業改善や履修指導に関わるこのようなヒント(Tips)は継続して収集し、機会あるごとに大学の構成員にフィードバックしていきたいと考えています。

鹿児島大学の講義は、教員同士の授業参観、学生による授業評価、そして、市民体験講座での社会人による評価等をとおして、授業改善が継続的に行われています。ここでは、それら学内で得られた情報を基に、授業改善のためのヒントを項目ごとにまとめました。なお、ここに記載されたヒントは、学生から改善して欲しいあるいはここが悪かったという指摘項目にもなりやすいので、教員として、「初心忘れるべからず」の事柄として理解していきましょう。



1 学生の授業評価に基づいたヒント

■ スライド・配布資料

- ・スライドを全部コピーしてくださっていて、授業を聞くことに集中できた。
- ・スライドもプリントも綺麗にまとめられて、とても分かりやすかった。見やすく、丁寧な説明でした。
- ・スライドの内容を書き終わるまで、ある程度の時間をくれたのでとても助かった。

■ 説明方法・内容

- ・基本的に分かりやすく、丁寧な説明でした。
- ・とても分かりやすく、熱意が伝わってきた。(話がとても上手く、内容が頭に入ってきた)
- ・高校の内容を発展させた内容で、とてもわかりやすかった。
- ・高校で習ったようなことから、もっと詳しいことまであり、内容が深かった。
- ・今まで知っていた大まかな知識から、さらに一步踏み込んだ知識を学べた。

■ 講義方法・質疑応答

- ・毎回、問題を解くことで知識が定着したと思う。
- ・質問に行ったら、分かりやすく教えてくれた。
(質問にも答えてくださったので、とても学びやすい講義でした。)
- ・様々な分野のつながりが良く分かった。

1号

2号

3号

4号

5号

6号

7号

8号

9号

10号



2 教員の授業改善報告書等に基づいたヒント

■ 学生の理解を深める

- 授業で配付するレジュメに「今日の授業のポイント」の欄を設け、授業の冒頭で、その回の授業時の重要なポイントは何であることを解説している。
- 説明の中に、なるべく具体的な「例」を織り込むように心がけている。
- 授業の始めには、現在日本や世界で起きているニュースの紹介や解説などを行うことによって講義の内容が現実世界に直接結びついた問題であることがわかるようにしている。
- 毎回レポートを課し、出されたレポートにある問題点や疑問・質問などに、できる限り(翌々週になるが)授業中に指導し、答えるようにしている。
- いつも授業の最後にコメントペーパーを提出させ、そこで書かれている授業に関する質問に、次の授業のときにできるだけ答えることにしている。これにより、前回の授業で分からなかった点につき理解が深まると、学生からは一定の評価を得ている。
- 基本的知識を補うための工夫として、テキストの指定、プリントの準備などが必要である。

■ 学生の受講態度、関心の改善

- 授業開始後40分以上すると居眠りする学生がいたため、23年度は最初の40分の講義の後に、学生同士で10分間ディスカッションをさせ、その後の質疑応答の時間を多く取ったことで、学生の授業への参加意識も高まった。
- 抽象的な理論は最低限に留め、具体的な事例を通じて学問の基礎をレクチャーした。
- 逆説的ではあるが、授業中に受講者の注意を喚起する上で、「余談を挟む」とか「話が横道に逸れる」ことが効果的である。

教育に関する試み(Tips)で参考になる学外の事例紹介

参考文献 (FDガイド第1号と第2号で挙げたものは除く)

- ◇ 1. 池田輝政他(2001)『成長するティップス先生』玉川大学出版部
- ◇ 2. 名古屋大学高等教育研究センター「ティップス先生からの7つの提案」(教員編)
http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/file/seven_faculty.pdf
- ◇ 3. 香取草之助監訳(1995)
『授業をどうする!カリフォルニア大学バークレー校の授業改善のためのアイデア集』
東海大学 出版会

【鹿児島大学FD委員会広報WG】

西 隆一郎(教育センター高等教育研究開発部長・水産学部)

竹岡 健一(法文学部委員)

山本 啓司(理学部委員)

仲谷 英夫(理工学研究科委員)

伊藤奈賀子(教育センター)